

日時	発表者	連絡先	発表・配布先
令和7年2月3日(月)	(公財)ひょうご産業活性化センター 経営推進部長 足立 宰 (成長期待企業発掘・育成担当課長 林 謙太郎)	078-977-9118	

「成長期待企業」(2024年度第3四半期選定)の情報提供について

(公財)ひょうご産業活性化センターでは、県内の中小企業支援機関等で構成する「中小企業支援ネットひょうご」事業の一環として、成長が見込める元気な企業を「成長期待企業」として発掘・選定し、企業の成長に向けた各種支援を実施しています。

この度、新たに下記の6社(累計616社)を選定しましたので、その企業の概要をお知らせします。

(株)ポンドルド(プラントエンジニアリング)

構造物の調査・設計・解析に最先端の最適解を!

(1) 沿革等

- 同社は、現代表の古池健治氏が、2020年(令和2年)に設立した。2021年(令和3年)にISO9001を取得し、現在に至る。

(2) 同社の特徴

- 同社は、神戸市を拠点として、全国の原子力・火力発電所や一般産業の構造物における調査・設計・解析を行っている。従来、人の手によって行われていた構造物の調査を3Dレーザースキャナーなど高度な機器とそれを取り扱う技術力により、安全性・作業効率・精度の全ての面で抜本的に改善した。3D仮想空間データを使って現場を再現し、パソコンで確認できるため、何度も現場に足を運ぶ必要がなくなり、WEB会議(画面共有)を通じて、関係者全員が現場を歩いているような感覚で具体的な打合せを進めることができる。
- 安全基準が最も厳しい原子力・火力発電所において、調査・設計・解析を担ってきた経験・知恵などの知的財産を最大限に活かし、本質的な課題を捉えながら多角的に解析し、最適な解を導き出すことを得意としている。

(3) 今後の展開

- 同社が原子力プラントで培った技術を広く認知してもらうべく、一般産業の分野でも営業活動を実施する。特に工場関連へ事業領域を拡大し、新たな市場の開拓を目指す。



3Dレーザー計測では360°パノラマ写真の撮影を同時に行う



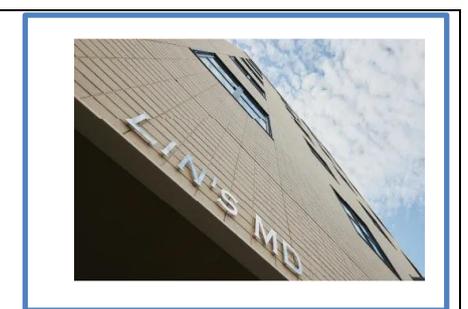
広範囲の空間を高精度にデータ化
足場を組まずに高所の調査が可能



仮想空間上で設計者自身が現場を調査することが可能

【(株)ポンドルド概要】

代表者：古池 健治
資本金：300万円
従業員数：50名
所在地：神戸市中央区北長狭通4-6-15 リズ'エム'ビル6F
設立：2020年(令和2年)4月
電話番号：078-334-6711
ホームページ：<https://pondold.co.jp/>



食に繋がる。未来へ繋げる。食品加工機械のパイオニア！

(1) 沿革等

- ・ 同社は、1959年(昭和34年)に中谷元哉氏が明石市太寺にて創業した。1966年(昭和40年)にアサヒ産業株式会社を開設。1996年(平成8年)に中谷佳弘氏が社長に就任した。2009年(平成21年)に本社を現在の明石市松の内に移転。2020年(令和2年)に現代表の中谷安伸氏が代表取締役就任し、現在に至る。

(2) 同社の特徴

- ・ 同社は、鮮度保持機(ガス置換方式:軟弱野菜を冬眠状態で保存鮮度を保つ)の製造、販売会社からスタートした。顧客の要求に応じてマルチカッター(鱧の骨切機)を開発し、食品機械製造業へと転身した。2000年に販売を開始した魚介類・畜肉類・野菜などを切断する自社オリジナルのミニマルチスライサー(MKシリーズ)は、時代の変化や顧客の要求に応えながらバージョンアップを繰り返し、超ロングセラー製品となっている。
- ・ 販売面では、新規顧客には展示会によるプル戦略を展開し、プッシュ戦略により国内47都道府県の200拠点にわたる30社の代理店・商社、東南アジアの14社、欧米の21社とエージェント契約を結び、国内外に販売網を構築している。また、20年前から予防保全として定期的なメンテナンスや点検業務を導入し、顧客対応を良好なものにした結果、リピート率は80%程度まで向上している。

(3) 今後の展開

- ・ 神戸市西区に新たに取得した工場の機能充実を図ると共に倉庫機能も付加し、一元化による管理能力を高めて、さらなる海外市場への対応を強化する。



ロングセラー製品のミニマルチスライサー(MKA8)



明太子

焼肉

同社機械での食品加工例



西日本商品創造展への出展の様様

【アサヒ産業(株)概要】

代表者：中谷 安伸
資本金：1,000万円
従業員数：36名
所在地：明石市松の内1丁目13-7
設立：1966年(昭和41年)11月
電話番号：078(921)0150
ホームページ：<http://www.asahimulti.co.jp>



あらゆる塗装に対応する環境に優しい塗装のスペシャリスト！

(1) 沿革等

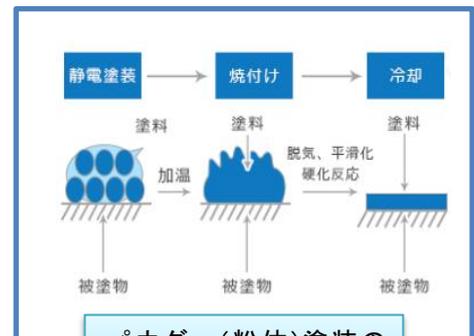
- 同社は、1963年(昭和38年)に戸崎政人が高砂市伊保町にて創業した。1966年(昭和41年)に戸崎産業株式会社を設立。1972年(昭和47年)に本社を現在の高砂市梅井に移転した。2006年(平成18年)にベトナムに現地法人を山口精工(株)と共同出資にて設立した。また同年、現代表の戸崎寿人氏が代表取締役に就任し、現在に至る。



RoHS対応のアルミ3価
クロム被膜処理ライン

(2) 同社の特徴

- 同社は、兵庫県高砂市にある焼付塗装、静電塗装、粉体塗装などを行う塗装業者である。メラミン焼付、アクリル焼付、ウレタン、粉体等の塗料全般の塗装に対応が可能であり、充実した設備で経験豊富な塗装のプロが顧客の幅広いニーズに応えている。塗装業という性質上、特に環境に配慮した事業を意識しており、RoHS対応で6価から3価クロメート表面処理に置き換える等、サステナブルな塗装を展開している。また、有機溶剤不使用の安全で塗装性能に優れたパウダー塗装など、長年積み重ねてきた専門技術のノウハウで、環境に優しいクリーンで安全な塗装で社会に貢献する企業である。



パウダー(粉体)塗装の
工程図

(3) 今後の展開

- 一般的に難しいといわれている軟質素材への塗装を行う技術を習得し、それを活用して新市場開発を行うことでさらなる成長を目指している。新市場展開の可能性として、靴への塗装、電動キックボード用駐輪場のマットのライン塗装などに着手している。展示会への出展や取引先からの紹介を中心に販路拡大を図る。



マット系塗装
サンプル



スウェード素材
塗装サンプル

軟質素材の「靴」への
塗装サンプル

【戸崎産業(株)概要】

代表者：戸崎 寿人
資本金：1,000万円
従業員数：46名
所在地：高砂市梅井5丁目2番3号
設立：1966年(昭和41年)8月
電話番号：079-447-1756
ホームページ：http://w.w.w.tozaki-pt.co.jp



モータづくり (レゾルバ開発) で社会に貢献する!

(1) 沿革等

- 同社は、1960年(昭和35年)に秋田喜市氏が一宮町にて設立した。1993年(平成5年)にタイ、2000年(平成12年)にフィリピンに子会社を設立した。2011年(平成23年)にたつの市光都にモータ技術研究所を建設。2015年(平成27年)に光都工場建設。2017年(平成29年)に現社長の秋田博史氏が代表取締役役に就任した。2021年(令和3年)に光都第2工場が竣工し、現在に至る。

(2) 同社の特徴

- 同社は、創業者の秋田喜市氏が郷土の一宮町に若者たちの働く場所をつくりたいとの思いからスタートし、創業以来の変わらぬモータづくりを通じて、地域社会の発展に貢献している。その思いは脈々と受け継がれており、現在はモータの設計開発からモータを構成する個々の部品加工や製品の組立まで、社内で一貫生産を行っている。当社のコア技術は、モータの心臓部である巻線を独自の技術で作製した巻線機を用いて細線から太線まで高密度に整列させる技術力にある。販売面では、車載ビジネスへ機軸をシフトし、当社特許のレゾルバ商品の拡充と既存事業の浸透を中心に売上を拡大している。

(3) 今後の展開

- 車の自動運転を含め自動化、電動化が進む中、成長著しいモータ市場を背景に、車載、建機・農機、産業用モータの分野でレゾルバセンサーやブラシレスモータの技術を活かして、更なる将来的な事業拡大や雇用創出に貢献する。



【(株)一宮電機 概要】

代表者：秋田 博史
資本金：7,842.6万円
従業員数：450名
所在地：^{たの}栗市一宮町^{あき}関^あ賀358
設立：1960年(昭和35年)6月
電話番号：0791-59-8200
ホームページ：http://www.ime-group.co.jp



安全・快適、そして街の財産である建物価値を守る！

(1) 沿革等

- ・ 同社は、1946年(昭和21年)に西宮市甲子園口にてワックス製造・販売、ビル・学校の清掃委託会社として創立した。1977年(昭和52年)に西宮市に新社屋を竣工し、移転。1978年(昭和53年)に学校・建物の機械警備を開始。2015年(平成27年)にPFI事業を開始。2019年(令和元年)にベトナムのハノイに独資会社を設立し、現在に至る。

(2) 同社の特徴

- ・ 同社は、戦後間もない時期にワックスの製造販売とビルや学校の清掃委託管理会社としてスタートした。その後、警備業務や施設の指定管理者制度及びPFI(Private Finance Initiative)にも積極的に取り組み、地域社会の発展と安全を総合的に支えている。民間事業者として蓄積したノウハウを指定管理施設(市のギャラリー等)での施設管理運営で活かすことで、多様化する住民ニーズに応え、従来の自治体にはないサービスを提供し、利用者満足度の向上につなげている。ビルメンテナンス業では、コストの約65%が人件費関連費用とされており、「人材難」という構造的な課題がある。これに対応するため2016年からベトナムの技能実習生を受け入れ、現地法人を立ち上げるなどの仕組み作りに取り組んでいる。

(3) 今後の展開

- ・ 今後は、民間の受注比率を増やし、入札案件のリスクを回避すると共にPFI事業では県内にとどまらず県外での採択も目指し、更なる将来的な事業拡大や雇用創出を図る。



公共施設の警備、清掃管理、設備管理を担う



音響効果抜群の甲東駅直結西宮市の甲東ホールの運営管理を担う



川西市市民体育館整備に伴うPFI事業に構成員として参加

【(株)双葉化学商会 概要】

代表者：京藤 光江
資本金：4,500万円
従業員数：600名
所在地：西宮市産所町14番6号
設立：1978年(昭和53年)8月
電話番号：0798-23-7730
ホームページ：http://www.futaba-kagaku.co.jp



豊富な在庫力、迅速な配達力、高い加工力で新築・リフォーム現場を支え続ける！

(1) 沿革等

- ・ 同社は、1951年(昭和26年)に神戸市長田区にて木材販売業として創業した。1960年(昭和35年)に三祐木材株式会社を設立。1988年(昭和63年)に長田区から現在の須磨区へ事務所を移転。2016年(平成28年)にWEBショップを開設し、現在に至る。

(2) 同社の特徴

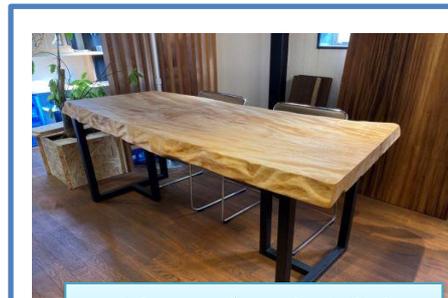
- ・ 同社は、兵庫県神戸市須磨区で木材、建材の販売を行う卸売業者である。工務店約20社、リフォーム店約180社の合計約200社を主要顧客に持つ。短納期、安定した在庫量、多種多様な造作材に対応する木材加工技術、営業と配送を一つの部署にした営業配送体制などの強みを生かして、顧客からの信頼を獲得している。また、一枚板の加工、仕上げが同時に行える高効率のプレナー付ワイドサンダーを導入し、さらに幅広い一枚板を短納期かつ低価格で加工することが可能となった。阪神エリアには同様の機械を所持するところはないため、同業者からの注文も徐々に増えつつある。

(3) 今後の展開

- ・ 加工で生じるおがくずを産廃とせず販売すると共に、加熱圧縮して、環境に優しい再生可能なバイオマス燃料である木質ペレットとして利用する取組を推進する。さらに、それを燃料とするペレットストーブを合わせて販売し、持続可能な暖房設備の普及を図り、SDGsに貢献する。



ShopBot(CNC ルーター加工)で好きなデザイン、好きなサイズに加工が可能



一枚板(テーブル天板)を常時在庫し、オーダーに基づき加工



おがくず燃料(木質ペレット)で稼働するペレットストーブ

【三祐木材(株) 概要】

代表者：三浦 祐生
資本金：5,000万円
従業員数：25名
所在地：神戸市須磨区多井畑池ノ奥上11-1
設立：1970年(昭和45年)6月
電話番号：078-743-3111
ホームページ：https://www.sanyumokuzai.com/



〔参考〕 成長期待企業について

1 概要

経営革新や新たな技術・製品・サービスの開発などに取り組んでいる県内の中小企業を応援するため、(公財)ひょうご産業活性化センターを中核機関として中小企業支援機関をネットワーク化した「中小企業支援ネットひょうご」を構築しています。

このネットワークを活用し各種の支援を実施することにより、売上・利益・雇用の面での成長が期待できる企業を「成長期待企業」として選定し、企業の成長に向けて集中的に支援を実施する(原則2年間)制度を設けています。

平成15年以降、600社を超える中小企業を選定しています。

2 選定基準

以下の選定基準(選定基準より一部抜粋)をもとに委員会にて企業を選定します。

- ① 成長が期待される元気な中小企業である。
- ② 「中小企業支援ネットひょうご」の構成機関による支援策が有効に活用される業種・業態の企業である。
- ③ 県内に主たる事業所を有する企業である。
- ④ 経営方針(経営理念、具体的目標、ビジョン)がある。
- ⑤ 経営革新・第二創業や新たな技術、製品、サービス等の開発の要素がある。
- ⑥ 支援策の活用により今後3年間において、売上、利益、雇用のいずれかで成長が見込める企業である。

3 選定企業への支援

「成長期待企業」として選定された企業は、次の支援メニューを活用できます。

- ① 「コンサルティング支援」(原則2年間)
当センターの総括コーディネーター・マネージャーによる指導・助言
- ② 「専門家派遣事業による支援」(原則2年間)
ひょうご産業活性化センターの専門家派遣事業に係る費用負担の軽減
- ③ 「情報提供支援」
異業種間での経営者同士の情報交換機会の提供(ひょうご成長期待企業定例会を奇数月開催)
- ④ 「企業PR支援」
「中小企業支援ネットひょうご」のホームページ上に選定企業として掲載